

宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明る
いまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる
楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫
る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231

来館者読書意識調査

59年度

この調査は、昭和59年8月15日～8月25日の開館日（10日間）に来館した小学生以上の人を対象に行つたもので、有効回答数は、小学生522人、中学生233人、高校生123人、一般65人であった。

小学生は、3分の2が女子で、女子の意見が強く反映している。中学生もやや女子が多く、高校生は逆にやや男子が多い。一般（小中高校生を除く。）は、男女ほぼ同数となった。

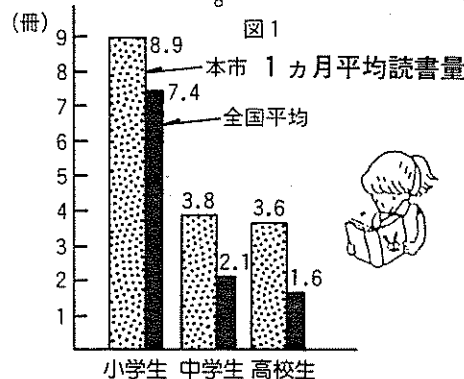
一か月の読書量は、小学生8.9冊、中学生3.8冊、高校生3.6冊、一般4.7冊である。小学生は読書家であり、中学、高校に進むにしたがって、読書しなくなる。

一般の読書は、小学生より4.2冊少なく、中・高校生より1冊多い。あなたはどうか。

全国平均（毎日新聞全国学校読書調査）と比較すると、図1のようになる。全国平均をかなり上回っているのがわかる。

どんな本を読みますか？

小学生では、最も多いのが童話で、次いで趣味の本、SF・推理小説、歴史、絵本、伝記、民話、図鑑の順となった。学年別では、



(注) 全国平均値は、毎日新聞社「学校読書調査」(59年5月実施)から

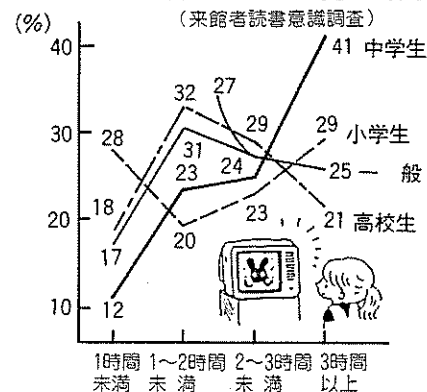
一～二年までは、童話と絵本を読み、四年になると、童話と趣味の本に分かれ、五～六年生は、趣味の本、SF・推理小説を読むようになることがわかった。しかし、

童話は、一～六年まで手堅い支持であった。一般では、小説、趣味・娯楽書、専門書、雑誌・マンガ、実用書、学習参考書の順で読まれている。

年代別では、20代が雑誌・マンガを最も読み、40代に入ると実用書、趣味・娯楽書をよく読むという結果になった。

具体的には、小学生の1位がヘレンケラー、次いで窓ぎわのトッ

図2 1日にテレビを見る時間



トちゃん、ナイチンゲール、若草物語、ガラスのうさぎ、坊ちゃんとなつており、ヘレンケラーは、全国学校読書調査と同じになった。一日の平均読書時間は、中学生1時間30分、高校生1時間36分、

一般1時間18分となった。テレビを見ない人は、小学生7.2%、高校生8.9%、一般9.2%であった。テレビを視聴する人の一日平均時間は、小・中学生が2時間42分で全く同じになった。高校生は2時間18分、一般が2時間16分で小・中学生がもっとも長い。

読書ばなれはしているか？

中学生33%、高校生53%、一般28%の人が読書ばなれしていると答えた。原因としては、「情報はテレビなどからえられる」が最も多い。二番目に高校生、一般では「忍耐力がない」を挙げ、中学生では「心に残るような本の出版がない」としている。

ラジオは、中学生33%、高校生37%、一般43%が聴かないとしている。

読書案内 ①

今年の話題作をひろう

今年出版された本の中から、読者の中心に話題の多いものをひろうて紹介しましょう。

渡辺淳一の『愛のごとく』は「ひとひらの雪」の続編。発売以来、図書館の予約ナンバー1です。小林信彦の『発語訓練』は、小説作法の伝説に二石を投じようという息込みの感じられる作品。自称日本通の外人W・C・フラナガンの訳業にその苦心が感じられます。さて、フラナガンの正体は？

安岡章太郎の『僕の昭和史』は、戦争をはさんだ著者の生活史を、淡々と率直な筆でつづった好著。戦前・戦中を生きた読者には深い共感を、若い読者には新鮮な感動をもたらすことと思います。

ムー文明の誕生から滅亡までの二千年、80世代の歴史を80巻で描くという壮大な構想をもつ半村良の『太陽の世界』は、11巻ができました。冬休みに1巻から読んでみればいかがでしょうか。

ルポルタージュ・取材ものでは

大韓航空機事件が関心をよんでいます。よく読まれた柳田邦男の『墜』に加え、最近三好徹の『大墜』もできました。

戦争ものでは、女性の視点からの秀作が相次いでいます。著者が満州で世話したロシア女性の思い出を通して、

戦争の悲惨を衝く中林庫子の『マールシャ』、1948年

中国で国共内戦にまきこまれて、多くの日本人が鉄条網の中に包囲され餓死した事件を描いた遠藤蒼の『卡子』、澤地久枝の『滄海よ眠れ』は、ミッドウェー海戦が舞台の小説で全6巻になる予定。現在刊行中です。

ごく最近でた小説では、川端文学賞を受賞した林京子の短篇集『三界の家』、教師と教える子の関係を描き、原発、都市と田舎とい



った問題を横系にからませた水上勉の『鳥たちの夜』、著者自らの家と、病いに冒された兄弟を描いた三浦哲郎の『白夜を旅する人々』など読んでみたい力作です。

外国小説では、フレデリック・フォーサイスの『第四の核』がよく読まれています。原題は、核拡散防止条約に付属する「4番目の秘密議定書」という意味。これを破棄しようとするオーロラ計画とはどういうものでしょうか。

映画でおなじみ「2001年宇宙の旅」の続編、アーサー・C・

しい悲観主義者カート・ヴォネガットの短篇集『モンキーハウスへようこそ』には、現代と未来の25の話がおさめられています。

一方、今年は評論がコピーを生んだ年でした。浅田彰の『構造と力』から生まれたスキゾ人間・パラノ人間、ダン・カイリーの『ピーターパン・シンδροーム』で響きわたったピーターパン現象。新聞、雑誌ですっかり市民権を得た言葉ですが、本をじっくり読んだ人は案外少ないようです。冬休みはどうぞ。

『グシュラの奇跡』も話題になりました。心身ともに冒された難病の少女グシュラが、多くのすぐれた絵本とふれあうことで、本を楽しむ人生を楽しむことができるようになるまでの記録。絵本と子供とのかかわりあい、こんなに端的に示された例はめずらしいでしょう。

『ヒマラヤの蝶よ低く飛べ』は、地元うつのみや童話の会のはじめの童話集です。力作ぞろいですが、東京からも反響がよせられています。ぜひ一読ください。

このほかにもまだまだよい本、おもしろい本がたくさんあります。冬の日、図書館で探してみてください。

電算機の漢字シ
ステム稼働により、
宇都宮市立図書館
の新刊情報である
「新着図書」リス
トが、11月分から
漢字になりました。

この「新着図書」リストは、月3回、図書館内の新着図書を、書名の50音順で配列し、「新着図書」と書かれた、オレンジ色のバインダーにとじられて、約2か月分が1階の書名、著者名目録の棚の上に置かれます。

まもつて！貸出期間

図書館の本の貸出期間は、2週間です。この期間を過ぎても本をお返しだけない時には、まず電話で返却のお願いをします。さらに一定期間後、それでも戻らない本をコンピュータがはじき出し、それをもとに、今度は返却のお願いを書いたはがきを発送します。この作業は定期的に行なわれますので、未返却のままですと、何回も同じはがきがいく事になってしまいます。このように、督促には手間と費用がかかります。督促をうけるほうも気持ちのよいものではありませんね。本はきめられた日までにお返しください。

冬休みに読む

読書案内 2

子どもが愛する「子どもの本」

『子どもが愛する「子どもの本」』

「うつのみや子ども賞」で選定された本を紹介します。

◇『星になったチロ』(藤井旭著ポプラ社)犬の天文台長として親しまれたチロと、天文台の仲間との心あたたまる話です。

◇『王者のとりで』(戸川幸夫著金の星社)アフリカの少年と草原の王者ライオンの物語です。

◇『兄妹』(植木雅子著童心社)兄が妹を誘いかいて家出する。おとなのなかで傷つく子どもの世界。

◇『青い部屋』(岸川悦子著童心社)父からつめたくされて心の病いになった少年が、カウンセラーとの対話の中で生きることを考えます。

◇『ミスターおもしろ氏は誰だ』(中野幸雄著ポプラ社)推理小説の好きな人はもちろんにがての人にもおもしろく読める

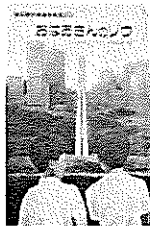


本です。

◇『ウルフ探偵とまぬけな死神事件』(三田村信行著成社)プロローグや地図など、おもしろいしかけがあります。

◇『ネコは街のライオンだ』(羽仁進著ポプラ社)どこにでもいるネコも、まだまだ知らないことがたくさんあるんですね。この本でもっと知ってみましょう。

◇『おばあさんのソウ』(かつおきんや著リブリオ出版)シンガポールに行ったふたりの少年の物語です。



◇『お父さんのおんぶ』(宮川ひろ著成社)友だちの転校、さらわれっ子のことなどをおして、心のやさしい女の子の姿を描きます。

◇『サブの二学期』(野村昇司著あすなろ書房)6年生の2学期に起こるさまざまな事件をのりこえて、野球にうちこむサブの成長の

姿がさわやかです。

◇『とべない白鳥ポ』(手島悠介著講談社)きずついた白鳥ポとせわをする三太郎おじさんの交流、生命力と知恵と精神力をもつ白鳥のほんとうにあった話です。

◇以上11冊が各回ごとに選ばれた本です。

月2回の選定会議は、来年3月まで続きます。「うつのみや子ども賞」に選ばれるのはどの本でしょうか。みなさんも読んでみてください。

★「うつのみや子ども賞」

★「うつのみや子ども賞」
子供自身の作品評価への道を築くことを目的に、家庭文庫の子供達17名(小学校5・6年生)が、月2回年間20回の選定会議を開き、各回ごとに新刊書の中から推薦図書1冊を選定する。この中から最優秀作品1点を来年3月に「うつのみや子ども賞」に決定する。
宇都宮子どもの本連絡会主催。

栃木県優良推奨図書

栃木県優良推奨図書は、青少年健全育成の一つとして、夏冬の3回対象ごとに発表されます。図書館でも、一覧表やちらしでお知らせしています。

◇昭和59年度2期(冬期)推奨図書

◇小学生低学年 ちががきはけさないで、かがみのルピック・ぞうのたまごのたまごやき・うみうり

11月4日第2回「子どもの本を考える」公開講座を開催しました。お話しは、子どもの頃の本との出会いが、一生を左右することもあるという、講師ご自身の体験からはじまりました。

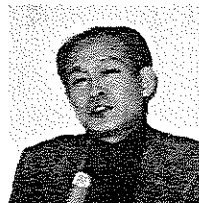
「子供と読書」

とまとめられました。

この後、子ども観や本の与え方などについて実例をひいて話され、子どもには四つの顔(親に向ける顔、先生に向ける顔、友に向ける顔、誰もいないときの顔)があるということでは、受講者一同大きくうなずいていました。

ひき続き、質疑応答があり、時間ぎりぎりまで質問が続きました。

講師 大石真(おおいし まこと)児童文学者。主著に「チヨコレート戦争」「教室205号」ほか



目録箱

問 書架にある本をひろげて、その場で見たり、メモをとる場所があればいいのです。

答 1階に書見台を置きまし

た。ちよつとした閲覧、メモに、どんどん利用してください。長くなるときは、2階の閲覧室をご利用ください。

漢字化始動式

図書館では、昭和56年のオープンの時から電算機を利用して、貸出、返却、検索等の業務を行ってきましたが、蔵書の増加に伴いカタカナから漢字による表示へと新しいシステムに11月6日(火)より変更いたしました。当日は、開館と同時に教育次長が始動のスイッチを入れ、利用者5名に国語辞典を贈るなどの記念事業を行いました。

名画鑑賞会

題名 炎のランナー
(カラー123分)

日時 1月10日(木)
第1回午前10時
第2回午後1時
第3回午後4時

場所 市立図書館3階集会室

定員 150名。整理券が必要。(詳細は視聴覚ライブラリーへ)

文庫まつり

宇都宮子どもの本連絡会が、さる11月18日(日)図書館で、文庫まつりを行いました。

二百人もの元気な子どもたちの歓声や笑い声が、集会室に響きわたりました。

ニュースコーナー



文庫のみなさんご苦労様でした。

落語会

第14回落語会を開催します。

この落語会では、「聞く読書」として「声の図書」を作成し、目の不自由な方々に鑑賞していただきます。寄席の臨場感をだすため、ぜひご来場し、いっしょにお楽しみください。

日時 60年1月26日(土)

午後3時～5時

場所 市立図書館3階集会室

貸出状況

区分	59年10月	59年度累計 59/4~59/10
登録者数	1,322人	85,468人
貸出人数		
館内	19,148人	137,427人
視聴覚	1,824	13,194
館外	4,305	30,443
計	25,277	181,064
貸出冊数		
館内	60,460冊	428,243冊
視聴覚	3,980	28,490
館外	18,060	125,273
計	82,500	582,006

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

10月の	館内	1日あたり	館外	1ステーションあたり
貸出人数	798人		35人	
貸出冊数	2,519冊		146冊	

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時
ただし、児童図書室は
午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日
国民の祝日

図書整理日(毎月初日または翌日)

●年末年始休館

昭和59年12月28日

昭和60年1月4日

●移動図書館車の運休

昭和59年12月18日

昭和60年1月6日

この期間中は蔵書の入替や整理のため、移動図書館車はお休みになります。ご協力ください。

60/1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	①	②	③	④	⑤	
6	⑦	8	9	10	11	12
13	⑭	⑮	16	17	18	19
20	⑳	22	23	24	25	26
27	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
	㉗	㉘	㉙	30	31	

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						①
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙

ボランティア製作

あたらしい本

声の図書

▽吉里吉里人(渡辺美晴)▽しづちゃん他(藤田東子)▽レ・ミゼラブル1(間康子)▽悪魔の設計図他(木村あい)▽ドリレル先生のサーカス他(石井武子)▽主婦の生活事典927他(黒川敏子)▽八切意外史・悪女列伝他(丸山行江)▽百戦百勝(須藤秀代)▽日本の司法他(中神さとみ)▽子どものようこぶ鬼とてんぐの話(横山嘉子)▽悪魔の一家(館野ひろ子)

点字図書

▽どろんこハリー(岩瀬恭子)▽夕食ばんざい(増淵清美)▽ちびねこミツシエル(石川孝子)

奇贈

子安七朗「歌文集歩み参」・和田恒男「詩集蟹」・保田美和子「童話の花束」・今井昭男「日本近代文学大事典」・中国国家図書館「李苦禪画集」・わたぼうし宇都宮実行委員会「飛んでけわたぼうし」・斎藤てる子「UFO」・宇都宮女子高「朝日年鑑一九七一一八〇」・岡田泰代「岡田泰代詩集」ほか多数。